① 2017年末の高齢者の大掃除実態

・高齢者の2017年末の大掃除実施率は53.1%。高齢女性の大掃除意識が高いことが明らかに。
・「高所の掃除」に不安を感じる高齢者が多数。家族の助けやプロによるハウスクリーニングを上手に活用しよう！

高齢者の2017年末の大掃除実施率は53.1%でした。中でも高齢の女性の実施率は、2017年末の全体の実施率より高く、年末大掃除への意識が高いことがうかがえます。

高齢者に、還暦を過ぎてから掃除に負担を感じるようになった場所と理由について尋ねたところ、上位3ヵ所は「レンジフード・換気扇」(46.6%)、「窓・網戸」(36.7%)、「照明器具」(27.9%)となりました。理由は、**「イスや脚立を使った、高所の掃除に不安を感じる」（61.9%）が最も高く**、次いで「面倒になった」(45.2%)という結果となりました。

12月は、掃除中に高齢者が高所から転落するケースが多く発生しています。高所の掃除に不安を感じる場合は、ご家族やプロにハウスクリーニングを依頼するのもひとつの手段です。

図1：2017年末の高齢者の大掃除実施率

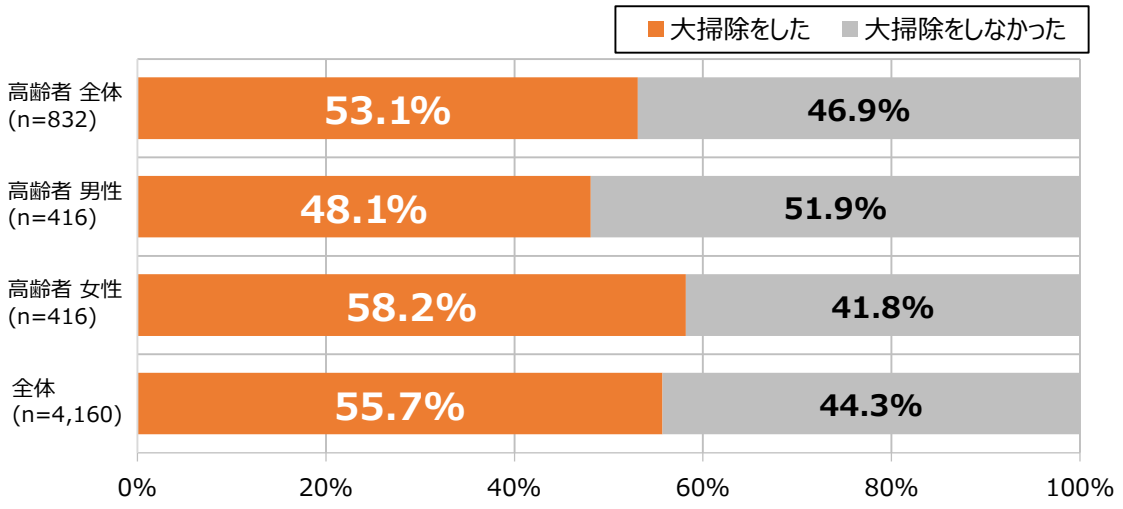


図2：掃除に負担を感じる場所(上位5カ所)

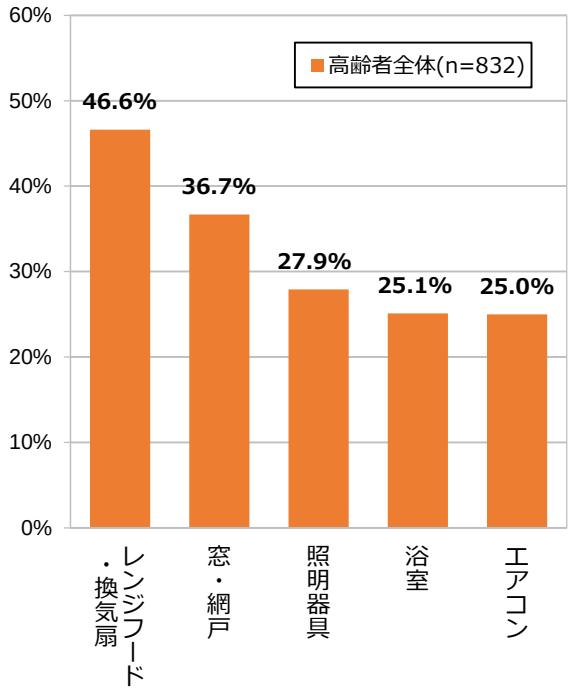
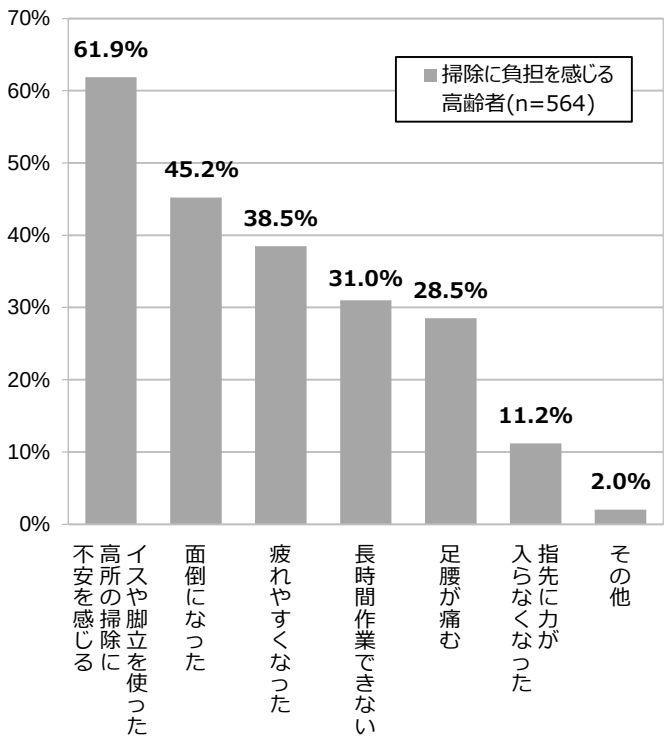


図3：掃除に負担を感じる理由



② 実家の大掃除や片付けの実態

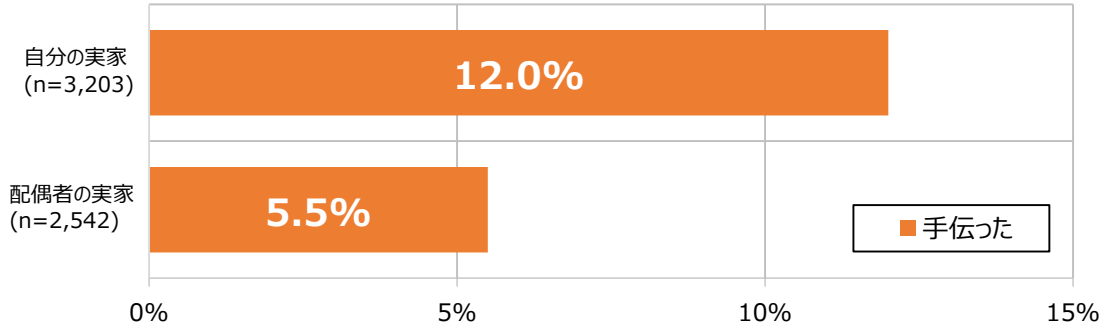
・2017年、10人に1人が「実家の大掃除や片付けを手伝った」と回答。
・実家の大掃除で困ったことは“作業の大変さ”や“親とのコミュニケーション”。

親と別居している人を対象に、実家の大掃除や片付けを手伝ったかとどうか聞いたところ、**2017年の1年間で10人に1人が「実家の大掃除や片付けを手伝った」**ことが分かりました。さらに、手伝った際に困ったことを聞いたところ「物が多い」「想像以上に汚れていた」「掃除道具が違うので戸惑った」など、作業の大変さや不自由さを挙げる人が多く、また「気遣いに疲れた」「勝手に捨てられない」など、作業中の親とのコミュニケーションの難しさを挙げる声もありました。

近年、高齢化が進む中で“毎日を清潔で安全な住まいで生活してほしい”“親が大切にしている物を親が元気なうちに確認しておきたい”などの目的で、実家の大掃除や片付けが注目されています。

ぜひ年末年始などの帰省時には、清潔で安全な住まいづくりについて、親子で一緒に考える機会にしてみましょう。

図4：2017年に、実家の大掃除や片付けを手伝った割合



＜実家の大掃除や片付けをしていて困ったこと＞

自分の実家で困ったこと

- 自分の家より物が多いからどこから始めたらいいか分からない。(男性 20歳)
- 捨ててよいものか、必要なものか分からない。(男性 64歳)
- 掃除道具が自分が使っている物と違うので戸惑った。(女性 35歳)
- 高所の掃除が全くできていなくて汚れていた。(女性 52歳)
- 「いつか使うかも」と残したがるので片付けが進まない。(女性 58歳)

配偶者の実家で困ったこと

- 気遣いに疲れた。(男性 29歳)
- 自分の親ではないので手が出しづらい。(男性 41歳)
- 長期間掃除をしていなかったので汚れがなかなか落ちなかった。(男性 63歳)
- 物が多いわりに捨てようとしない。(女性 30歳)
- いちいち聞かなければならなくて気を遣うし進まない。(女性 57歳)

【 調 査 概 要 】

■調査目的　：2017年末の大掃除についての意識・実態把握
■調査対象　：20歳以上の男女
■調査地域　：全国(エリア区分：北海道・東北・関東・中部・近畿・中国・四国・九州)
■調査方法　：インターネットリサーチ
■調査時期　：2018年1月26日(金)～1月28日(日)
■サンプル数　：4,160サンプル〔うち高齢者（60歳以上）832人〕
※全データに対してn数30未満のものは参考値として記載

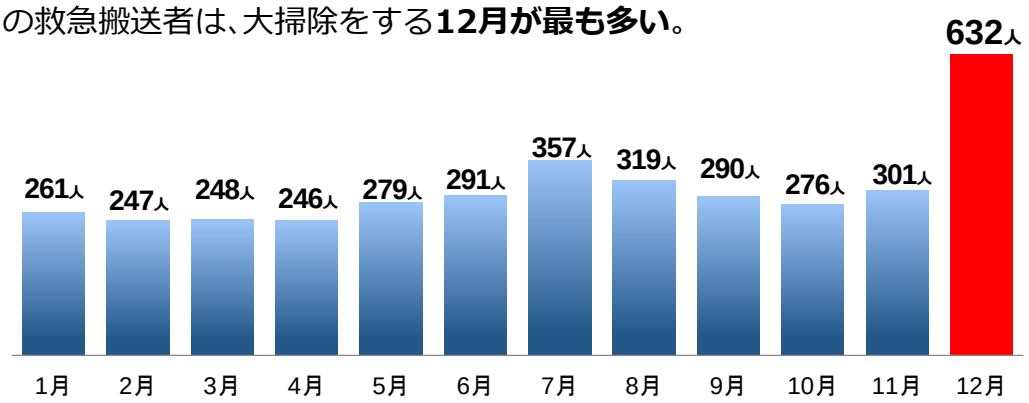
＜参考＞東京消防庁「掃除中の事故による救急搬送状況」

東京消防庁によると、掃除中のケガによる救急搬送者は12月が最も多く、60代・70代が全体の約4割を占めています。また、「居室や寝室」で“ころぶ”や「脚立・踏み台・足場」から“落ちる”事故が多い状況です。

高齢者が大掃除をする際は、安全を第一に取り組みましょう。とくに高所の掃除では脚立を使ってバランスを崩さないようにしましょう。

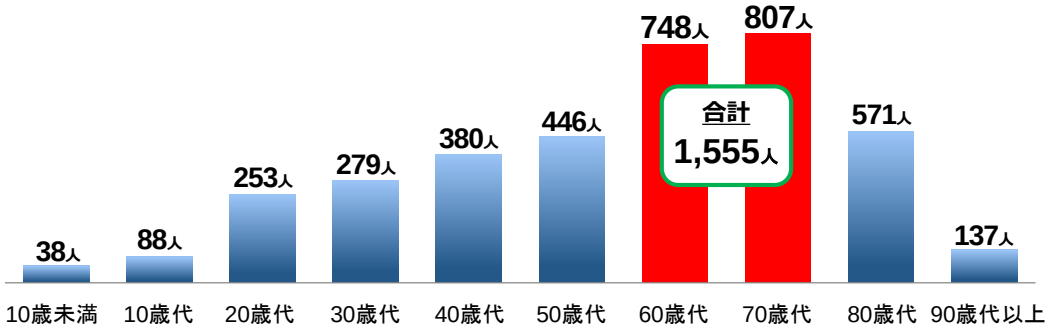
■ 平成24年から平成28年までの5年間で、掃除中のケガによる救急搬送は**3,747人**。

■ 月別の救急搬送者は、大掃除をする**12月が最も多い**。



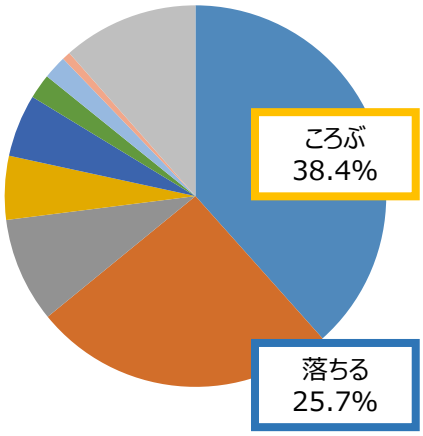
（平成24年から平成28年までの5年間に掃除中のケガで救急搬送された人　n=3,747）

■ 救急搬送者は、**60代と70代が全体の約4割**を占める。



（平成24年から平成28年までの5年間に掃除中のケガで救急搬送された人　n=3,747）

■ 多いケガは**「居室・寝室」で“ころぶ”**、**「階段」「脚立・踏み台・足場」から“落ちる”**。



＜ころぶ事故の発生場所 上位＞

1位	居室・寝室	357件
2位	浴室・脱衣所	190件
3位	道路	156件

＜落ちる事故の発生場所 上位＞

1位	階段	255件
2位	脚立・踏み台・足場	219件
3位	椅子	154件

ころぶ　落ちる　ぶつかる
切る・刺さる　はさむ・はさまれる
ものがつまる・ものが入る・誤って飲み込む
やけど　かまれる・さされる　その他・不明

（平成24年から平成28年までの5年間に掃除中のケガで救急搬送された人　（n=3,747）